[抄録様式]

財団法人 8020 推進財団

平成26年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：吉川市水道水フロリデーション普及啓発活動事業

2. 申請者名：吉川市役所 市長

3. 実施組織：吉川市、吉川歯科医師会、吉川市母子愛育会、栄町三区町会、日本大学松戸歯学部（学術・技術支援）、日本口腔衛生学会（学術支援）、吉川市フロリデーション推進協議会

4. 事業概要：市民が水道水フロリデーションを正しく理解し、吉川市における水道水フロリデーションの実現を目指すことを目的とした普及啓発促進事業を実施したものである。

5. 事業の内容：

(1)フロリデーション水の試飲体験活動の実施及び意見聴取

- ① 保健センター内に給水器を設置し、センター利用者に対する試飲体験を実施した。
- ② 吉川市民まつりにおける試飲体験を実施した。
- ③ 吉川市コミュニティ協議会事業「魚つかみ取り大会」における試飲体験を実施した。
- ④ よしかわマルシェにおける試飲体験を実施した。
- ⑤ その他必要に応じた試飲体験を実施した。

(2)市内協力歯科医院におけるフロリデーション水の試飲体験及び意見の聴取

- ①協力歯科医師の診療所で随時フロリデーション水の試飲体験及びフロリデーションに関する感想及び意見など聴取を行った。

(3)フロリデーションに関する PR 活動の実施

- ①イベント時にガス風船を活用してのPR活動を実施した。また、各種事業においてリーフレットを配布しPR活動を行った。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

吉川市水道水フロリデーション普及啓発活動事業計画に基づいて、市民に水道水フロリデーションを正しく理解していただくために、試飲体験コーナーや各種イベント及び出前講座等などの事業を実施してきた。その結果、アンケートの回答などからフロリデーションとは何かを知る人が増えてきている。一方でフッ化物利用に対する誤解や風評などにより、吉川市の水道水フロリデーション推進中止を求める要望書が提出されるなど情報が正しく伝わっていない状況であった。